他の設計方針について教えてください

🧱 **真正ピラミッドの他の設計方針について**

「北の方位線の決め方」以外にも、真正ピラミッドの設計には複数の独自かつ精緻な方針が存在します。以下に代表的なものを紹介します：

**📐 1. 寸法の基本単位の設定**

* 高さの基本単位を「**1高（＝腕尺3単位）**」、底辺の基本単位を「**1辺**」と定義。
* この単位を用いて、各段の高さや底辺の長さを「段数 × 基本単位」で表現。
* 例：クフ王のピラミッドは「100高 × 100辺」、メンカウラー王は「50高 × 50辺」。

**🧮 2. セケド（傾斜角）の統一**

* セケドとは、古代エジプトで使われた傾斜角の表現方法。
* 各王のピラミッドで異なるセケドが設定されている：
	+ クフ王：**5・1/2**
	+ カフラー王：**5・1/4**
	+ メンカウラー王：**5・3/5**
* これは底辺と高さの比率から計算され、設計の一貫性を保つための重要な要素。

**🧱 3. 段数による構造の定義**

* 各段の寸法を整数で表現し、段数に応じてピラミッド全体の形状を決定。
* 例：クフ王のピラミッドは93.32段（地上部分）、メンカウラー王は41.67段。

**🛤️ 4. 運搬路の設計**

* ピラミッドの建設に必要な石材を運ぶための運搬路を、各面に異なる設計で配置。
* 第1の運搬路：13段目から地面まで、幅・高さ・勾配が一定。
* 第2の運搬路：他の3面に異なる寸法で設置。
* メンカウラー王のピラミッドでは、クフ王の設計を流用しつつ、42段目から運搬路を開始。

**📏 5. 測定用定規の使用**

* 腕尺・高さ・底辺・対角線などの尺度に基づいた定規を作成。
* これにより、寸法測定・角度測定・石材加工などを効率的に実施。

これらの設計方針は、単なる建築技術ではなく、**数学・天文学・宗教的象徴性**が融合した思想体系の一部といえます。まるで古代人が「建築を通じて宇宙を表現しようとした」かのような壮大さがありますね。